

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

白馬村まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県北安曇郡白馬村

3 地域再生計画の区域

長野県北安曇郡白馬村の全域

4 地域再生計画の目標

【現状と課題】

白馬村は、雄大な北アルプス白馬連峰の麓にあり、豊かな山岳自然環境、里山環境をはじめ姫川源流など豊かで美しい自然と景観に恵まれています。

高度経済成長期には登山やスキーを中心に観光業で賑わい、1998年に長野オリンピック冬季競技大会の競技会場となりました。その後、経済の低迷と共に観光業が衰退したものの、産業構造の転換やグローバル化を背景に、外国人観光客や海外からの移住者が増加するなど地域の状況は大きく変化しています。

近年では、2014年に発生した長野県神城断層地震は村内に大きな被害をもたらし、その後は温暖化の影響による深刻な雪不足、さらに新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言など、地域の基幹産業である観光業は様々な要因により打撃を受け、盛衰を繰り返しています。雇用の不安定さから人材は流動的であり、人口は2005年の約9,500人をピークに減少に転じ、住民基本台帳によると、2021年4月1日時点で約8,500人、2060年には約5,000人まで減少すると予想されています。

年齢3区分別人口の推移をみると、2000年から2020年にかけて、年少人口は1,544人から929人、生産年齢人口は6,184人から4,781人と減少している一方、老年人口は1,764人から2,782人と増加しています。年少人口の減少スピードは県平均より早く、総人口が減少していることを踏まえれば、高齢化率が加速

的に上昇することが危惧されます。

自然動態については、1986年以降、出生数が死亡数を上回る自然増の傾向が続いていましたが、2005年に初めて自然減に転じ、その後もその傾向がつづいています。2020年には出生数49人、死亡数96人と47人の自然減となっています。また、合計特殊出生率は年々低下傾向にあり、2008年以降は全国・県平均も上昇していますが、本村では歯止めが掛からず、2020年には1.01となっています。

社会動態については、2001年に転出数が転入数を上回る社会減に転じましたが、2013年以降社会増の傾向が続いています。これは外国人観光客の増加に伴い、外国人短期就労者増加によるものが要因の1つと考えられます。2020年には転入者542人、転出者618人となっており、76人の社会減となっています。

2001年以降、自然増減、社会増減をあわせても人口減少の状況が続いており、このままでは、固定資産税や住民税といった税収の減少、生産年齢人口の減少等により円滑なまちづくりや集落の維持が厳しくなるといった影響が懸念されます。

人口減少・高齢化社会において、住民が相互に認め合い支え合う関係をつくり、外国人を含めて子どもから高齢者までが地域で安心して暮らせる教育、福祉、医療など社会基盤の構築を推進していく必要があります。

天候や気候、経済状況や国際情勢、災害等で打撃を受けやすい観光業を基幹産業とする村の経済は、これまで外的要因に大きく影響を受けながら歴史を積み重ねてきました。また、多くの観光客を受け入れるために整備したインフラやオリンピック施設等の維持管理は人口1万人に満たない村の財政にとって大きな負担となっています。

予測が難しい今後の環境変化に対応していくためにも、村の理想の姿を住民自らが思い描いた上で、住民一人ひとりが主体的に行動するだけでなく、村を訪れる多様な人々と交流し、学び続ける姿勢が求められています。

将来にわたり豊かな暮らしを実現していくためにも、今後も変わりゆく時代背景の中で、「白馬の豊かさとは何か」と繰り返し問い続けると共に、多様な価値観や背景を持つ住民が互いを理解し、課題に対して一緒に向き合い、学びあい成長しながら暮らしていく必要があることから、「多様であることから交流し学

びあい成長する村」を基本理念に掲げています。

また、「むらごと自然公園」の理念を尊重し、恵まれた自然環境や多様な文化・価値観を守り、尊重し、住民だけでなく観光客なども含めて白馬に集う全ての人々が「住んで良かった」「来て良かった」と思える白馬村の新しい暮らし方を育むことを目指すことが求められています。

上記の課題解決に向けて、基本理念である「白馬の豊かさとは何か―多様であることから交流し学びあい成長する村」の実現を目指し、本計画において、以下の4つの基本目標をもとに取り組みを進めていきます。

【基本目標1】 安心してみんなが暮らせる村

住んでいるすべての人が助け合いながら、安心して心豊かに暮らせる村を目指します。

【基本目標2】 新しい仕事をつくりだす村

豊かな自然環境を有効に活用しながら、環境の変化に対応できる仕事を創り出せる村を目指します。

【基本目標3】 一人ひとりが成長し活躍できる村

人の出入りが流動的でも、互いに知り合う努力をして、学びあい成長し活躍できる村を目指します。

【基本目標4】 『魅力ある自然を守る村』

世界的に有数な自然環境を後世にも引き継げるように、大切に維持できる村を目指します。

【数値目標】

5- 2の ①に 掲げ る事 業	K P I	現状値 (計画開始時 点)	目標値 (R 6 年度)	達成に寄与 する地方版 総合戦略の 基本目標
ア	行政区加入率	70%	80%	基本目標 1
ア	地域づくり事業補助金の活用地区数	30地区	30地区	基本目標 1
ア	集落支援員数	4 人	5 人	基本目標 1
ア	協働のまちづくり推進交付金交付件数	0 件	5 件／累計	基本目標 1
ア	白馬村行政ホームページ月間ページビュー数	144,944PV	200,000PV	基本目標 1
ア	白馬村行政Facebookホームページ「いいね！」数	1,603いいね	2,000いいね	基本目標 1
ア	ケーブルテレビ白馬加入件数	2,088件	2,200件	基本目標 1
ア	村への施策提案等システムの構築件数	0 件	1 件	基本目標 1
ア	人口	8,795人	8,478人	基本目標 1
ア	人口の社会増数（転入者-転出者）	185人	1,000人／累計	基本目標 1
ア	移住者数	19 人／年	80 人／年	基本目標 1
ア	地域おこし協力隊員数	8 人	10人	基本目標 1
ア	移住定住イベント出展・開催回数	4 回／年	4 回／年	基本目標 1
ア	小中学校転入児童生徒数	10人	20人	基本目標 1
ア	新築住宅戸数	226 件	380件／累計	基本目標 1
ア	外国人住民との意見交換会開催回数	2 回／年	2 回／年	基本目標 1
ア	英語版広報誌発行数	12回／年	12回／年	基本目標 1
ア	ふるさと白馬応援し隊 隊員数	75名	80名	基本目標 1
ア	ふるさと白馬応援し隊 隊員対象イベン	1 回／年	1 回／年	基本目標 1

	ト開催回数			
ア	ふるさと納税返礼品取扱数	170品	200品	基本目標 1
ア	災害時住民支え合いマップ作成地区数	24地区	30地区 (全地区)	基本目標 1
ア	防災アプリダウンロード数	0件	10,000件	基本目標 1
ア	消防団協力事業所数	4社	6社	基本目標 1
ア	信州消防団員応援ショップ登録店舗数	10件	20件	基本目標 1
ア	自主防災組織設立地区数	26地区	30地区	基本目標 1
ア	地震総合防災訓練等参加者数	296名	300名	基本目標 1
ア	防災物品備蓄倉庫数	0か所	3か所	基本目標 1
ア	村有地の環境美化活動回数	2回	2回	基本目標 1
ア	地区の環境美化活動回数	60回	60回	基本目標 1
ア	防犯パトロール回数	30回/年	36回/年	基本目標 1
ア	児童生徒の登校時における街頭指導回数	15回/年	18回/年	基本目標 1
ア	交通安全啓発に係る広報無線放送回数	20回/年	24回/年	基本目標 1
ア	運転免許自主返納支援事業利用者数	101人(累計)	250人(累計)	基本目標 1
ア	白馬シャトルバス利用者数	冬季ナイト 11,846人 グリーンシー ズン 6,256人	冬季ナイト 15,000人 グリーンシー ズン 8,000人	基本目標 1
ア	<既存公共交通網のネットワーク向上> 神城駅、白馬駅の乗車人数実績 (※網 形成計画)	337人	337人	基本目標 1
ア	<通年型観光を支援する公共交通の検討> 白馬サイクルフェスタの参加者数 (※網 形成計画)	510人	510人	基本目標 1
ア	<誰もがわかりやすい案内情報の提供> 解決すべき課題の中の「案内表記」	10%	9.9%	基本目標 1

	(※網形成計画)			
	<村民との協働機会の創出>			
ア	地域公共交通会議の開催 (※網形成計画)	1回	1回	基本目標1
ア	インフラ長寿命化点検実施済み橋梁・トンネル等	18か所	107か所	基本目標1
ア	村営住宅戸数	30戸	24戸	基本目標1
ア	木造住宅耐震診断・耐震改修補助件数	0件/年	1件/年	基本目標1
ア	都市計画マスタープランの見直し件数	0件	1件	基本目標1
ア	地籍調査済面積	8.01 k m ²	8.60 k m ²	基本目標1
ア	合計特殊出生率	1.01	1.15	基本目標1
ア	妊婦基本健診受診率	100%	100%	基本目標1
ア	不妊治療費助成件数	2件/年	4件/年	基本目標1
ア	年間出生数	41人/年	220人/累計	基本目標1
ア	新生児訪問実績割合	89.5%	90%	基本目標1
ア	小児科オンライン登録者数	139人	200人	基本目標1
ア	産婦人科オンライン登録者数	9人	20人	基本目標1
ア	平日夜間救急医療事業	1か所	1か所	基本目標1
ア	大北圏域産科数	1か所	1か所	基本目標1
ア	“なかよし広場”利用者数	延べ 1,004人 /年	延べ 1,300人 /年	基本目標1
ア	“自由利用”利用者数	延べ 1,150人 /年	延べ 1,200人 /年	基本目標1
ア	子育て相談支援センター相談件数	635件	700件	基本目標1
ア	おひさまメモリーズ登録者数	126人	250人	基本目標1
ア	小児インフルエンザワクチン助成数	813件	1,000件	基本目標1
ア	ながの子育て家庭優待パスポート事業協賛店舗数	30店舗	33店舗	基本目標1
ア	休日保育利用者数	延べ 1,518人	延べ 2,000人	基本目標1

		／累計	／累計	
ア	放課後児童クラブ利用者数	延べ 2,451人 ／累計	延べ 2,500人 ／累計	基本目標 1
ア	児童通所サービス利用者数	33人	40人	基本目標 1
ア	障害福祉サービス利用者	44人	55人	基本目標 1
ア	共同生活援助支給決定者	15人	17人	基本目標 1
ア	地域移行支援利用者	0人	1人	基本目標 1
ア	日常生活支援用具給付者	延べ 194件	延べ 180件	基本目標 1
ア	日中一時支援事業	延べ 221件	延べ 300件	基本目標 1
ア	村内の法定雇用率達成企業数	1社	2社	基本目標 1
ア	障害者優先調達推進法調達実績額	438,480円	500,000円	基本目標 1
ア	成年後見制度利用支援事業	0件	1件	基本目標 1
ア	居宅生活動作補助用具支給件数	0件	1件	基本目標 1
ア	地域福祉総合助成事業住宅改修件数	1件	3件	基本目標 1
ア	意思疎通支援事業（通訳者派遣数）	12回	17回	基本目標 1
ア	介護予防取組みグループ数	23グループ	25グループ	基本目標 1
ア	介護予防事業参加者数	延べ 5,321人 ／年	延べ 7,000人 ／年	基本目標 1
ア	地域ケア会議開催回数	5回／年	6回／年	基本目標 1
ア	配食サービス食数	2,877食／年	3,000食／年	基本目標 1
ア	乗合タクシー利用者数	8,676人／年	9,000人／年	基本目標 1
ア	白馬シニアクラブ会員数	1,251人	1,300人	基本目標 1
ア	シルバー人材センター登録者数	623人	700人	基本目標 1
ア	認知症サポーター数	1,023人	1,500人	基本目標 1
ア	特定健診受診率	50.8%	60.0%	基本目標 1
ア	特定保健指導率	68.6%	75.0%	基本目標 1
ア	食育ボランティア登録者数	28人	30人	基本目標 1
ア	平日夜間救急医療事業	実施日数 286 日	実施日数286 日	基本目標 1

		患者数 354件	患者数 354件	
ア	在宅当番医制事業実施日数	228 日	228 日	基本目標 1
ア	在宅歯科当番医事業実施日数	76 日	76 日	基本目標 1
ア	スキー傷害診療開設日数	実施日数 43 日 患者数 1,184 件	実施日数 43 日 患者数 1,184 件	基本目標 1
ア	医療従事者数（看護師・准看護師）	57人	70人	基本目標 1
ア	介護人材養成講座受講者数	28人	50人／累計	基本目標 1
ア	個人番号カード交付率	11.78% (1,113 名)	30% (2,834 名)	基本目標 1
ア	システム・基盤等の共同調達数	2 件	4 件	基本目標 1
ア	業務への RPA 導入数	0 業務	2 業務	基本目標 1
ア	インターンシップ受入人数	8 人	10人	基本目標 1
ア	職員研修受講者数	延べ 128人	延べ 130人	基本目標 1
ア	実質公債費比率（早期健全化基準 25%）	10.9%	14.9%	基本目標 1
ア	将来負担比率（早期健全化基準 350%）	70.7%	84.9%	基本目標 1
ア	村税現年課税徴収率	97.9%	98.5%	基本目標 1
イ	眺望スポットの抽出数	0 か所	10 か所	基本目標 2
イ	ウィンターシーズン観光客入込数（12月～3月）	85 万人／年	150 万人／年	基本目標 2
イ	災害発生時の危機管理マニュアルの構築	白馬村観光防 災マニュアル (応急対応版)	白馬村観光地 継続マネジメ ント (DCM) の策定	基本目標 2
イ	グリーンシーズン観光客入込数（4月～11月）	122万人／年	130万人／年	基本目標 2
イ	地域未来牽引事業者の新規雇用者数	13 人	75 人／累計	基本目標 2
イ	白馬ジャンプ競技場リフト乗車人数	55,660人	83,000人	基本目標 2

イ	白馬スノーハープクロスカントリー大会 出場者数	2,288人	2,300人	基本目標2
イ	スノーハープを活用したマウンテンバイ ク大会参加者数	233人	250人	基本目標2
イ	老朽化観光施設等の修繕工事	1か所	2か所	基本目標2
イ	エリア観光客延べ宿泊者数	2,900千人	3,066千人	基本目標2
イ	耕作放棄地面積	9.2ha	8.2ha	基本目標2
イ	多面的機能支払交付金取組面積（農地維 持）	391.59ha	436ha	基本目標2
イ	多面的機能支払交付金対象面積（長寿命 化）	391.59ha	409ha	基本目標2
イ	ほ場整備新規地区（北城南部地区）	40.8ha	40.8ha	基本目標2
イ	ほ場整備新規地区（新田地区）	0ha	52ha	基本目標2
イ	農業機械等導入補助件数	18件	30件／累計	基本目標2
イ	認定農業者への農地利用集積	470ha	490ha	基本目標2
イ	認定農業者数	30人	35人	基本目標2
イ	ふれあい農園及び市民農園面積	896㎡	1,900㎡	基本目標2
イ	有害鳥獣による農産物被害額	62万9千円	50万円	基本目標2
イ	電気柵資材購入費補助件数（個人向け）	10件／年	15件／年	基本目標2
イ	白馬産ブランド米生産農家数	9者	10者	基本目標2
イ	紫米消費量	6t／年	8t／年	基本目標2
イ	特産品栽培面積	8.1ha	10ha	基本目標2
イ	道の駅売品収入額	2億7百万円	2億3千万円	基本目標2
イ	地場産品売上高	2,150万円	2,600万円	基本目標2
イ	ふるさと納税返礼品取扱事業者数	41者	50者	基本目標2
イ	森林整備面積（公共造林事業）	37.78ha	60ha	基本目標2
イ	公共施設への木質バイオマス暖房設備導 入施設数	1か所	2か所	基本目標2
イ	公共施設への森林整備に伴う木質バイオ	0t	10t	基本目標2

	マス燃料納入量			
イ	木流川観察会開催数	4回/年	4回/年	基本目標2
イ	みどりの少年団交流集会開催数	1回/年	2回/年	基本目標2
イ	森林の里親促進事業交流会開催数	1回/年	2回/年	基本目標2
イ	小規模事業者経営改善資金利子補給補助金額	124万円	170万円	基本目標2
イ	創業支援者数	8人	20人/累計	基本目標2
イ	店舗後継者数	1人	5人	基本目標2
イ	ふるさと起業家支援事業を活用した起業家数	0件	5件/累計	基本目標2
イ	村内コワーキングスペース施設数	4箇所	10箇所	基本目標2
イ	大学・企業等との連携協定に基づき進行中の事業	6事業	6事業	基本目標2
ウ	中学校情報端末活用生徒数	延べ715人	延べ2,000人	基本目標3
ウ	小学校情報端末活用児童数	延べ657人	延べ2,800人	基本目標3
ウ	学習ボランティア登録数	南小 23人 北小 43人 中学 22人 計 88人	3校 計 100人	基本目標3
ウ	子どもを守る安心の家登録数	87箇所	95箇所	基本目標3
ウ	地場産食材の使用率 (野菜・果物・きのこ類)	長野県産比率 50% (うち、白馬 産比率 11%)	長野県産比率 60% (うち、白馬 産比率 13%)	基本目標3
ウ	白馬高校他県からの入学者数	20人	20人	基本目標3
ウ	白馬高校白馬村・小谷村からの入学者数	25人	35人	基本目標3
ウ	しろま学舎塾生数	63人	60人	基本目標3
ウ	ふるさと人材奨学金返還補助対象者数	3人	8人/累計	基本目標3

ウ	講座開催回数	延べ 48 回	延べ 60 回	基本目標 3
ウ	講座受講者数	延べ 908人	延べ 1,200人	基本目標 3
ウ	図書館来館者数	延べ 15,052 人/年	延べ 30,000 人/年	基本目標 3
ウ	主催・共催するコンサート等の入場者数	延べ 1,239 人/年	延べ 1,250 人/年	基本目標 3
ウ	週 1 日以上スポーツをする人の割合	- (H26 40%)	46.0%	基本目標 3
ウ	白馬村体育協会・スポーツクラブ主催教室の参加者数	4,845人	6,000人	基本目標 3
ウ	子どものスポーツ実施率	中学生 89.0% 小学生 90.0%	中学生 89.0% 小学生 80.0%	基本目標 3
ウ	白馬村スポーツ功労賞等受賞者数	33人	30人	基本目標 3
ウ	白馬村スポーツ少年団登録者数	360人	410人	基本目標 3
ウ	白馬村体育協会加盟団体登録者数	1,025人	1,300人	基本目標 3
ウ	白馬村スキークラブ競技登録者数	50人	70人	基本目標 3
ウ	社会体育施設等利用者数	65,604人/年	96,000人/年	基本目標 3
ウ	ウイング21 利用者数	51,114人/年	62,000人/年	基本目標 3
ウ	クロスカントリー競技場利用者数	10,241人/年	13,500人/年	基本目標 3
ウ	広域連携等による若者交流イベント開催回数	1 回/年	2 回/年	基本目標 3
ウ	婚姻数	134件	150件/累計	基本目標 3
ウ	役場の女性職員割合	30%	40%	基本目標 3
ウ	役場の女性職員の課長・係長登用割合	28%	35%	基本目標 3
エ	山岳環境配慮型トイレへの改修	0 か所	2 か所	基本目標 4
エ	気候非常事態宣言、ゼロカーボンシティ宣言の行動計画の策定件数	0 件	1 件	基本目標 4
エ	小水力発電量	127万Kwh/年	140万Kwh/年	基本目標 4
エ	ペレットストーブ購入補助件数	22 件	累計 34 件	基本目標 4
エ	ペレット販売数量	1,259 袋/年	1,300 袋/年	基本目標 4

エ	低公害公用車両数	6 台	6 台	基本目標 4
エ	EV 自動車普通充電設備助成件数	5 件	30 件／累計	基本目標 4
エ	村の歴史や文化を知る講座やイベントの開催回数	8 回	15 回	基本目標 4
エ	スキー教室参加者数	延べ 51 人	延べ 70人	基本目標 4
エ	村民登山参加者数	8 人	20 人	基本目標 4
エ	景観計画の策定件数	0 件-	1 件	基本目標 4
エ	白馬駅前無電柱化に伴う歩道の修景距離数	0 m	1,100m	基本目標 4
エ	屋外広告物パトロール実施回数	1 回／年	1 回／年	基本目標 4
エ	空き家の数	14軒	14軒	基本目標 4
エ	不法投棄監視パトロール回数	34回／年	34回／年	基本目標 4
エ	村道管理幅の支障木、雑草の防除延長	L=6.0km	L=10.0km	基本目標 4
エ	道路と景観を一にする緑地の除草回数	3 回	5 回	基本目標 4
エ	道路粉じん清掃の実施回数	0 回	2 回	基本目標 4
エ	地区集積場箇所数	77箇所	80箇所	基本目標 4
エ	生ごみ処理機利用世帯数	233世帯	330世帯	基本目標 4
エ	リサイクル率	20.2%	30%	基本目標 4
エ	焼却ごみの量	2,931t／年	2,800t／年	基本目標 4
エ	有収率の向上	45%	60%	基本目標 4
エ	良好な水源水質の持続	水質基準内の水質	原水全項目検査を基準内に維持する	基本目標 4
エ	ストックマネジメントの実施	0 %	100%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 とおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

白馬村まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 安心してみんなが暮らせる村づくり事業

イ 新しい仕事をつくりだす村づくり事業

ウ 一人ひとりが成長し活躍できる村づくり事業

エ 魅力ある自然を守る村づくり事業

② 事業の内容

ア 安心してみんなが暮らせる村づくり事業

時代に則した新たなコミュニティのあり方を地域住民と共に考え、外国人を含めた移住者と住民との共生や、介護の必要な方、障がいのある方も共に関わりをもって暮らせる地域づくりを目指します。そして、長野県神城断層地震から得た教訓から防災対策を強化し、社会インフラ等の整備を積極的に推し進め、住民が安心して暮らせる安全な村を創ります。

【具体的な事業】

地域づくり事業補助金交付事業

お試し移住ツアー事業防災アプリ構築事業

子育て相談支援センター運営事業地域福祉総合助成事業 等

イ 新しい仕事をつくりだす村づくり事業

基幹産業である観光業と農業を中心に、あらゆる施策を展開し、地域産業の活性化と新しい就労環境の整備に努め、年間を通じて安定した雇用を創出し、住民が永続的に定住できる村を目指します。また、本村の産業を担う新たな人材の育成を支援するとともに、安心して新たな創業、就業ができる環境を整えます。

【具体的な事業】

眺望スポット開設事業白馬村北城南部地区圃場整備事業公共造林事業

等

ウ 一人ひとりが成長し活躍できる村づくり事業

結婚から出産、子育てに至る切れ目ない支援を強化し、少子化対策を推進していきます。そして、村の伝統文化を継承し、本村の文化の素晴らしさを地域全体で学ぶための取組みや、地域全体で将来を担う若者を育成する地域づくりを進めていきます。また、本村において活躍している人の力を結集し、これからの本村の発展につなげる仕組みを作り上げていきます。

【具体的な事業】

ふるさと人材奨学金返還補助事業、図書館等複合施設建設事業
等

エ 魅力ある自然を守る村づくり事業

景観と調和した開発のルールづくり及び環境の整備によって、この恵まれた自然、景観、伝統文化を保全し、将来世代に引き継いでいきます。また、地球温暖化に起因する気候変動は、本村にとっても極めて深刻な脅威であり、雄大な自然の恵みを受けてきた本村だからこそ、村民とともに気候変動に対し、正面から向き合い、再生可能エネルギーにシフトするなど、地球環境保全に積極的に取り組みます。

【具体的な事業】

小水力発電事業白馬村公民館主催歴史探訪事業
白馬駅前地区電線共同溝事業 等

※なお、詳細は白馬村第5次総合計画後期計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

350,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

計画期間中は、事業の達成度や時代潮流の変化を確認するために、計画の進捗状況の検証を行うため、白馬村総合計画等評価委員会設置要綱の規程に基づき、白馬村総合計画等評価委員会（地方公共団体以外の第三者が参

画した評価組織) の PDCA サイクルによる検証及び評価を毎年度 7 月頃に実施し、白馬村公式ホームページ等に公表します。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで